

平木ひろみ

予算特別委員会で2局に質疑

第1回定例会市会は2月19日から6月26日までの長い会期です。昨年から2会期制で議会が運営されています。

平成26年度予算審議にあたっては、行財政局と教育委員会に対する質疑を担当しました。



行財政局

1. 予算編成方針について

- Q 久元市長初の予算編成方針の従来との違いは？
- A 21年ぶりにシーリングを撤廃し、組織横断的な予算編成のため局間連携で要求も実施した。地元企業への発注率は9割程度で即応的経済効果を狙っている。

2. 組織と人事の一体管理について

- Q 久元市長が職制改正をし、一体管理にした効果は？
- A 組織と人事の一体管理は、職務の性質や業務量を把握して組織を構築し、適材適所の人材配置ができる。

3. 職員研修について

- Q 女性の活躍推進のためには、男性・女性も年代に応じた研修をしていくべきでは？
- A 多様化する市民ニーズに応えるために、女性の価値観・発想は今後も重要になる。女性の活躍できる職場づくりを各層・年代・男女を超えて進めていく。

4. 国際戦略について

- Q 神戸の国際戦略を組織横断的に再構築すべきでは？
- A 全庁的に緊密な連携・協調を図って取り組む。
- Q 国際的人材の蓄積や都市の魅力向上には、家族での長期滞在受入態勢を整えるべきでは？
- A 外資系企業や外国人研究者集積のための在住外国人支援については、全庁的に連携を図って強化する。

国際都市神戸の次代を担う子供達には国際感覚を持って欲しいと思います。しかし私達家族がアメリカで生活した6年間に一番努力したのは「日本人としてのアイデンティティを保つ」ことでした。日本語を自由に操り、日本文化や歴史を理解し、日本語で考えることができれば、誇りを持った日本人である「真の国際人」にはなれないと思っています。

教育委員会

1. 「命の体験学習」について

- Q 小学校で地域の乳幼児親子と触れ合う取り組みがあるが、全市展開を進めてはどうか？
- A 大変有意義な活動なので、連携して推進したい。

2. 教育環境のICT化について

- Q 神戸市情報教育基盤サービスKIIFの更新は、教員の多忙化対策に併せて教育のバリアフリー化の取り組みも視野に入れた更新とするべきでは？
- A 更新にあたってはポータブルパソコンを導入するので、普通教室での活用も試験導入から順次拡大したい。

3. 多文化共生サポーターについて

- Q 渡日3年までの児童生徒を対象に母国語で支援するこの制度は重要だが、県予算の縮小に伴って対象期間が短縮されている。神戸市として支援継続するのか？
- A 生活適応、学習支援、心の安定のため重要な事業であり、県に継続要望をすると共に市も支援を続ける。
- Q 家族が地域に適応できているかどうかの状況も、学校で把握できることが多いと思うが、家族への支援が必要な場合は関係団体に協力を要請しては？
- A 保護者の支援についても、学校現場に対してできる支援を事前に知らせておくなど支援の充実に努める。

4. 小学校英語活動について

1) イングリッシュサポーター(ES:地域人材)について

- Q 学級担任が中心となって行う小学校英語活動において、ESが地域人材である限り、確保できない学校もあり、人材のレベル差も当然ある。全市一括登録して研修も実施し、必要な学校に派遣するシステムを作っては？
- A 昨年からの研修を始めたので充実させたい。ESのサポーターリーダー(SL)は優れた人材であり、必要な学校に派遣している。今後はできればSLを増やしていきたい。

2) 担任とALT(外国語指導助手)の連携について

- Q 121人のALTを採用しているのは政令市ナンバーワンだとのことだが、担任との打ち合わせがうまくいっていないとも聞く。ブロック研究会にESあるいはSLに加わってもらい、事前に授業内容の相談などをしては？
- A 初めてALTになる際の研修もしっかり実施している。SLの4名には市内を4ブロックに分けて担当してもらっているので、ALTの研究会に派遣することも今後検討したい。

平木ひろみ事務所

〒650-0045
神戸市中央区港島1-1-9-407
TEL (078)303-1319
FAX (078)322-6161
MAIL hiromi-hiraki@kobe-minshu.jp
URL <http://www.hirakihiromi.com>

神戸市会議員(中央区)

平木ひろみ

2014年 春号
市会報告

